

新元号が決まりました。終業式でもお話ししましたが、新たな決意をしたでしょうか。そして、その決意を人に話したでしょうか。

さらには、この春休みに学んだことを人に教えるつもりはありますか。どうぞ、アウトプットので、自分の知識を使える力に変えてください。そういう1年にしてほしいと思います。

さて、今年度の私からのメッセージは「本を読み、人に会え、旅をせよ」です。昨年度のメッセージから言葉が二つ増えました。このメッセージの意味は、知識を深め、人と話し、新しい価値観に触れよう、ということです。

本を読むという行為に代表されるように、知識はまず脳内にインプットしなければなりません。それが出発点です。そのインプットのさらなる方法が、人と話すこと、そして旅に出ることです。

人と話す、これは自分が話せばアウトプットですが、相手の話を聞けばインプットとなります。つまり、インプットとアウトプットが同時に行われるという、学びの方法として最も効率的で効果的なものと言えます。

その際、気をつけなければならないことがあります。それは、いろいろな人と話す、ということです。旅に出る話でも繰り返し触れていますが、多様な人と話すということは、すなわち多様な価値観に触れるということです。そのことによって我々は新しい気づきをもち、新しい学びを知ることになるのです。

ここで、インプットの一つの方法として、英字新聞の読み方を紹介したいと思います。皆さんの中には英語の力をもっと伸ばしたいと思っている人がいるでしょう。その方法の一つに、英字新聞を読むという方法があります。幸い、図書館に「ジャパン・タイムズ」が毎日届いていますから、それを利用してください。

私は自分の英語の力を上げるために、20年ほど昼休みに英字新聞を読んでいました。この時に使っていた方法を紹介します。

それは、一つのテーマを追いかける、という読み方です。例えば、新しい元号「令和」についての記事を探して毎日読んでいくという方法です。先週は、新元号にまつわる記事が毎日のように掲載されていましたね。

そこで、そのテーマについて書かれた記事を読み続けるのです。このように英字新聞を読み続けると、2つの効果が得られます。一つは、そのテーマに関する語彙力がどんどん増えて、知らない単語がなくなっていくということです。

最初の日、知らない単語だらけで大変ですが、2日目3日目と読み進める内に、同じ単語や言い回しが当然使われているわけですから、どんどん読めるようになります。そしてそのテーマの記事が掲載されなくなる頃には、そのテーマに関する語彙がほとんど自分のものになっている、という訳です。

もう一つの効果は、英文を読むスピードが格段に上がる、ということです。速く読める力に必要な条件は2つあります。一つ目は、語彙力と文法力ですが、これは先ほど言ったとおり、どんどん向上します。もう一つは、予想する力です。書いてある内容を予想しながら読むことによって、読解力のスピードが上がってきます。

一つのテーマで書かれた多くのまとまった記事を読むことで、その予想する力が身につくわけです。これは長文力の養成に大いに役立ちますよ。

さて、年度の当初に当たり、延高のよき伝統を確認しておきたいと思います。

それは、「前年の先輩を少しだけ超えようとする」という姿勢です。この姿勢が最もよく表れるのが、6月に予定している「萌樹祭」ですね。その準備において、前年の先輩を少しだけ超えてやろう、という意気込みをもって取り組むこと、これが伝統になっています。

最後に、皆さんに今年一年ずっと念頭に置いてほしいことがあります。それは、延高創立120周年の意義です。延高は今年120周年を迎えますが、それを単に儀式がある、という受け止め方をしてほしくありません。

この機会に、伝統を振り返り、そしてさらに進化させる、ということを皆さんに実践してほしいと思います。そして、その上で、この記念すべき年を皆さんの力で大いに盛り上げてほしいのです。どうぞよろしくお願いします。